



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	17,213.31	218.18	1.28	1.21	-1.22	17,425.03
NASDAQ	4,748.47	86.31	1.85	0.67	-5.17	5,007.41
日経225	16,938.87	86.52	0.51	-0.45	-11.01	19,033.71
上海総合	2,810.31	5.58	0.20	-2.22	-20.59	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,018.28	5.14	0.17	-2.44	-19.10	3,731.01
ハンセン	20,199.60	215.18	1.08	0.11	-7.82	21,914.40
H株	8,561.37	141.23	1.68	0.04	-11.38	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.1%高と小幅に4週続伸、上海総合指数は2.2%安

ハンセン指数は1週間で0.1%高と小幅に4週続伸した。前週までの上昇を受けて週明けから利益確定売りが先行し、10日まで4日続落と軟調に推移。中国の2月の貿易統計で輸出入が大きく落ち込んだことも嫌気された。ただ、週末11日には買い戻しが入り5日ぶりに反発。決算発表が本格化する中、決算発表や業績見通しをにらみ個別物色の動きも強まった。一方、上海総合指数は1週間で2.2%安と反落。7-8日は堅調に推移したが、その後は利益確定売りで全般に軟調な展開。追加緩和期待の後退も重しとなった。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、中国経済の先行き懸念が重しに

香港市場は上値の重い展開か。原油相場の持ち直しでNY市場が年初来高値を更新するなど外部環境に明るい兆しがみられる点はプラス材料だが、中国の経済指標が軒並み弱い内容だったことがプラス要因を相殺しそう。加えてムーディーズが香港の格付け見通しを「安定的」から「弱含み」に引き下げたこともマイナス要因となりそうだ。一方、本土市場はもみ合いの展開か。資金流出懸念は後退しつつあるが、中国人民銀行の周小川行長の発言を受けて追加緩和期待が後退しており、上値を試す展開は期待しづらい。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 リー&フン(00494)	4.90	4.26
2 中国中信(00267)	12.32	4.23
3 中国海外発展(00688)	25.75	3.41
4 昆侖能源(00135)	6.37	3.41
5 シノベック(00386)	4.95	2.70
6 AIAグループ(01299)	43.00	2.26
7 中国旺旺(00151)	5.65	1.62
8 中国工商银行(01398)	4.15	1.47
9 キャセイ・パシフィック(00293)	13.82	1.17
10 恒安国際集団(01044)	62.60	1.13

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 百麗国際(01880)	4.88	-9.29
2 ワーフ(00004)	40.95	-4.99
3 ハンセン銀行(00011)	131.40	-4.71
4 招商局国際(00144)	22.05	-3.08
5 中国平安保険(02318)	34.75	-2.93
6 恒隆地産(00101)	14.44	-2.56
7 信和置業(00083)	11.64	-2.51
8 レノバグループ(00992)	6.44	-1.83
9 中電控股(00002)	68.15	-1.80
10 華潤置地(01109)	19.88	-1.58

▼今週の期待材料

- ◆人民元の対米ドルレートが年初来高値に、外貨準備の減少幅も縮小し資金流出懸念が後退
- ◆WTI原油相場が先週1週間で7.2%上昇、IEAは「原油価格が底打ちした可能性がある」と指摘
- ◆15-16日に米FOMC開催、利上げに慎重な姿勢が示されれば相場にとって追い風に

▼今週の懸念材料

- ◆中国人民銀行の周小川行長、記者会見で「過度な金融緩和による景気刺激は必要ない」との認識示す
- ◆1-2月の中国の経済指標で小売売上高と鉱工業生産が予想を下回る、中国経済の先行き懸念がくすぶる公算
- ◆格付け会社のムーディーズが香港の格付け見通しを「安定的」から「弱含み」に引き下げ

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国中薬 (00570) : 15年本決算は連結対象拡大で50%以上の大幅増益の見通し
- ☆ テンセント (00700) : 17日に15年本決算を発表、市場予想は25%の増益
- ☆ 長江インフラ (01038) : 14日付でハンセン指数構成銘柄に採用
- ☆ 華潤置地 (01109) : 2月の不動産販売額と販売面積がそれぞれ3.4倍、2.8倍に拡大
- ☆ 中国平安保険 (02318) : 1-2月の保険料収入は25%増加、生保が35%増と好調
- ◇ チャイナ・モバイル (00941) : 17日に15年本決算を発表、市場予想は3%の増益
- ◇ 万科企業 (02202) : 深セン市地鉄集団の子会社買収を計画、新株発行で株式希薄化
- ★ 華潤ビール (00291) : 14日付でハンセン指数構成銘柄から除外
- ★ 中国ガラス (03300) : 15年本決算は4億円の赤字見通し、減損損失などが響く
- ★ 華潤セメント (01313) : 15年本決算は販売価格低下で76%の大幅減益

▼今週の主なイベント

- 3月15日(火)
- 【米国】FOMC(16日まで)
- 3月16日(水)
- 【中国】全国人民代表大会閉幕
- 【中国】李克強首相の記者会見

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。